

# 北の子

浜岡北小学校だより 2019年度6月号

<学校教育目標>

「たくましさ」と「思いやり」いっぱいの子

<重点目標>

みんなで考え、みんなで伸びる

## 運動会の成果と課題

6月1日（土）の運動会では、子どもたちへの心温まる声援や拍手、PTA種目への参加などありがとうございました。また、日頃の健康管理にも気を配ってくださったお陰で、**173名全員が最後まで元気に参加**することができました。

この日を迎えるまで、子どもたちは、様々な活動を頑張ってきました。例えば、5月23日（木）に行われた3・5年生の「北小ハリケーン」の練習でのことです。1回目の競技では、赤組が勝利しました。しかし、白組はそこで腐ったりせず、その後の作戦・練習タイムで同じ棒を持つ4人の位置を変更したり、コツを教え合ったりしていました。その結果、2回目の競技は、白組が勝利しました。そして、チームごとの振り返りタイムでは、どちらのチームも仲間のよかった点を褒めていました。

この授業の子どもたちからは、**運動会のねらいに迫る姿**が多く見られました。太字は、該当部分です。なお、（ ）内は、判断の根拠です。

### 運動会のねらい

- ①準備や練習を通して、規律正しい行動を身に付け、**自主性を伸ばす**（作戦タイムでの積極的な発言や練習姿勢）とともに、**学級や縦割り集団の結びつきを深める**（競技・話し合い・練習での協力姿勢）。
- ②種目練習・準備・当日の活動など様々な場面で自己有用感・自己達成感を味わわせることを通して、**自分なりのよさや仲間のよさに気づく**（競技・話し合い・練習での協力姿勢）。
- ③日頃の運動の成果を発揮し、運動の楽しさを味わうことを通して、運動に親しみ、進んで体を鍛えようとする意欲を育てる。



作戦タイム



競技



振り返りタイム

こういったねらいに迫る活動の積み重ねによって、子どもたちは、**心身共に大きく成長**することができました。この経験を通して培った力を今後に生かしていきたいと考えています。

このように大きな成果をあげた運動会でしたが、次年度に向けては、次のような課題も踏まえて運動会の在り方について慎重に検討していく必要があります。

### 今後の課題

- ①**体調管理の困難性**
  - ・運動会前の約3週間は、体育の授業時間が増加するうえ、休み時間にも練習に取り組むため、体調を崩しやすい。本年度のように7月並の暑さの日が何日か続く状況下では、その**危険性がさらに高まる**。長時間開催となる運動会当日は、**特に体調管理が難しい**。
- ②**新学習指導要領への対応**
  - ・次年度本格実施となり、外国語など年間の授業時間数が増加する学年がある。その負担軽減のため、**体育の時間数が超過しすぎないように抑制する必要**がある。